

埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進について

令和2年度

「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」の骨格を策定

～コンパクト、スマート、レジリエントの3つの要素全てを含む、地域特性に応じた市町村のまちづくりを支援～

令和3年度

4月

ワンストップ
窓口の設置

市町村にプロジェクト
を説明

5月

取組意向確認(5月末現在)

取り組みたい	22市町村
意向あるが難しい	24市町村
難しい	17市町村

6月

7月

今後の進め方を
市町村に周知

市町村と意見交換

市町村から寄せられているまちづくりに関する相談例

コンパクト

- 学校跡地に多世代交流拠点を整備し、周辺の道路や水辺と一体とした、にぎわいの創出
- 住宅団地内の空き店舗を活用した介護予防などの多世代交流拠点づくり

スマート

- 公道を使用したバスの自動運転実証実験の手続き
- ドローンによる農薬散布や鳥獣監視など農業を効率的に図るスマート農業

レジリエント

- 道の駅を活用した農業振興や災害時における拠点づくり
- 災害時に電気自動車のエネルギーを活用する仕組みの構築

埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進について

市町村

県

探索フェーズ

- ・地域課題の洗い出し、共有
- ・プロジェクトを推進する地域や取組の検討

具体化フェーズ

- ・エントリーシートに基づいた事業の具体化の検討
- ・予算の財源や実施体制の検討

事業実施フェーズ

- ・事業計画に基づく事業の実施

運営普及

エントリーシート

コンパクト	...
スマート	...
レジリエント	...

エントリーシートの提出

プロジェクトの推進を
市町村が意思表示

事業計画の提出

エントリーに基づき
事業化

協議・
要望

提案

協議・
要望

提案

ワンストップ 窓口

コアプロジェクトチーム

市町村事業化支援チーム

庁内推進会議

エントリーシートの公表

事業計画の公表